

**表5 注目したい大学例**

大学名	就職率	主なキャリア教育の取り組み
学習院大学	81%	大学改革推進事業での「キャリア・デザイン支援プログラム」と共に、キャリアセンターにおいても引き続き、学生ニーズに合う諸プログラムを検討したい。
上智大学	70.8%	キャリアデザインマガジン「ソフィアスタイル」発刊と連動企画としてマガジンに登場した卒業生による講演会の実施やキャリアオリエンテーション(セミナー+ワークショップ)の実施。
東京理科大学	45% (大学院進学率) 46%	教育課程内では、科目ごとにキャリアに関する内容を含んでいるか調査を行い、キャリアに関する内容や目標を明らかにし、シラバスに明示する。課程外では、就職支援組織を見直し、組織間の連携を取って学生を支援できるように準備を進めている。
皇学館大学	72%	<p>① キャリア支援センターの設置:多様な進路に対応した学生の就業力育成のために入学前教育や初年次教育、キャリア教育さらには卒業後のフォローを中心に担う</p> <p>② 専門のキャリアアドバイザーの配置:従来の入試アドバイザーや指導教員制をさらに活用するのに加え、専門のキャリアアドバイザーを配置し、入学前から卒業までのきめ細かな指導体制を図る。</p> <p>③ 学習サポートフォリオの検討:学生自らが成長を確認し、さらなる成長へ繋げるためのポートフォリオシステムの検討を開始。</p>
甲南大学	78%	<p>1年次:ベーシック・キャリアデザイン 「なりたい自分」の実現に向けて、自己の専門分野と社会との関係やどのような進路があるのか、卒業生・学部教員からの具体的な事例、体験談を聞くことで考えさせる。また、グループワークやプレゼンテーションを通し、人間関係を軸としたトレーニングも講義の中で行う。</p> <p>2年次:キャリアゼミ 少人数制で実施するゼミにおいて、チームワークやコミュニケーションスキルの向上を目指す。また、「社会人インタビュー」や企業・団体等に出向いての「ジョブシャドウイング」を通し、「働くこと」の現実に触れる機会を持つことで多様な進路や働き方があることを知り、その中から自分が希望する進路を探る。</p> <p>3年次:プラクティカル・キャリアデザイン 2年間の学習や成長を基礎にしながら、自己の能力に適した進路を選択し、進路決定のためのプロセスについて学習する。また、製品の開発から販売に至るまでのビジネス・プロセス、実際の企業における経営課題の解決プロセス、企業設立プロセスを模擬的に学習することにより、実践的な主体性・創造力を養い、社会に対し価値創造ができる能力を身につける。</p> <p>4年次:アドバンスト・キャリアデザイン 進路決定後に必要とされるコミュニケーション能力、論理的思考方法、モラルやマナー、ビジネス倫理について学習。企業・団体・地域社会と連携して人間や社会を洞察し、多面的な視点による判断力を養成して、生涯にわたる豊かな人間力を育成する基礎作りを行う。</p> <p>上記科目以外にも、学部の特性を活かした独自のキャリア科目を実施していく。</p>